

秘

二十日夜王子町大松亭に於て之を此の徒来取り来れり政一兼を批判
 大松亭側を司かんと大松亭に交談し在るに兼大松亭側と
 小石川労働会側とは了解ありし者かかし兼自便し席は何時にか
 貸すや否かと二日前に通知せられたりしを二十一日夜は
 突然の申出せられたる席の操をせつがため流儀となりし者等
 大松亭側にて決し之を竟の格をにあらせられたるに三日前夜
 より協議せられたる契約は後有る如くとも長し難しと然し
 又労働会側側にて大松亭側一者近きあり今度は大松亭
 せし職工側側と持衛は常松友会の方木強助君に
 今労働会打合中の大松亭側にては井上七次郎の建来は在り
 態度にて此人の幹部等又其の強んと在りて格首を格格し居
 るとの言を此は南外強行なりやと社外然し之後の大松亭は他
 甲田以上の持衛を以て之を強ひたりかあは是に務めを強ひ
 る者之見にて大松亭からん、斯く云ふ人々の大松亭は在り強
 者を中心とし之前後の者多しは如何に強ひたり、ある方を
 強ひたりし言が出来たりと思はれるのである、如何に在り

大正十一年一月二十七日

(警視廳報)

官業労働者大会ニ関スル件

小石川労働会ニ於テハ、普選促進、失業防止官業労働
 者大会ナル宣傳ビラ一万五千枚ヲ印刷シ本朝東京砲兵工
 廠(本廠及王子銃包製造所)職工出勤時ニ同廠各門ニ於
 テ各職工ニ配布シ予定ノ第一日屋外集會ハ本日午後四時
 三十分存下王子町大字谷津バシ販賣業澤屋重衣空地
 ニ於テ開催セリ聴衆約千三百名大多數砲兵工廠職工
 ニテ壁頭令會幹事部五十名茂登嘉田會ノ錦ヲ述

秘

大正十一年一月二十七日